



「こどもの読書週間」スタート！



学生の皆さんは、新年度になって何冊の本を手に取りましたか？
明日4月23日は、「子ども読書の日」です。今年で施行20周年になる「子どもの読書推進法」に基づき制定されました。子供の読書活動に対する関心と理解を深め、子供が積極的に読書活動を行う意欲を高めることを趣旨としています。

この「子ども読書の日」を初日として、「こども読書週間」もスタートします。1959（昭和34）年に「子供たちにもっと本を、子供たちにもっと本を読む場所を」との願いから始まり、今回で63回目を迎えます。

元々は、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間（5月1日～14日）でしたが、子供の読書への関心の高まりを受けて、「子ども読書年」である2000年より現在の4月23日～5月12日までの期間に延長されました。

「こども読書週間」を中心となって推進する公益社団法人読書推進運動協議会は、「家庭・地域に子供をつくろう」「幼児には父母が本を読んで聞かせてあげよう」「子供の身近にいつも本を置くことを考え、短い時間でも毎日本を読むことを勧めよう」「父母自らが読書する姿を示そう」など、家庭・地域における子供の読書の活性化に力を注いできています。

また、文部科学省は第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」（2018年度から5年間）に基づいて、子供の「読書習慣を形成すること」、「読書への関心を高めること」を重点とした次のような取り組みを展開しています。

- | |
|---|
| <p>①「読書習慣の形成に向けて、発達段階ごとの効果的な取組を推進」</p> <p>乳幼児期：絵本や物語を読んでもらい、興味を示すようになる 等</p> <p>小学生期：多くの本を読んだり読書の幅を広げたりする読書 等</p> <p>中学生期：内容に共感したり将来を考えたりする読書 等</p> <p>高校生期：知的興味に応じた幅広い読書 等</p> <p>②友人同士で本を薦め合うなど、読書への関心を高める取組を充実</p> <p>読書会、図書委員、「子ども司書」、ブックトーク、書評合戦(ビブリオバトル)等の活動</p> <p>③情報環境の変化が子供の読書環境に与える影響に関する実態把握・分析</p> <p>スマートフォンの利用と読書の関係 等</p> |
|---|

この他にも、家庭での読書活動への支援として、「ブックスタート」（乳幼児に絵本を開く楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動）や「家読（うちどく）」（子供を中心に家族で同じ本を読み、家族のつながりを深めること）といった活動も推進しています。

コロナ禍の中での生活も2年目になり、家で過ごす時間も多くなりました。「こども読書週間」ではありますが、私たち大人も常に傍らに本を置き、読書に自然に親しむ習慣を思い出し、読書の魅力を再発見したいものですね。
(教職課程センター 特任教授 佐藤 佳彦)